

2019年7月4日

株式会社アイキャスト 第27回番組審議委員会 議事録

■日 時： 2019年6月24日（月）16:00～17:00

■場 所： 株式会社アイキャスト会議室（サンシャイン60 25階）

■出席者： 番組審議委員 中島 洋 様 (委員長)
夏目 幸明 様 (副委員長)
石田 紗英子 様
菅生 新 様
次原 悅子 様
美馬 敬 様

アイキャスト	永田 勝美	(代表取締役社長)
	沼尻 孝	(取締役副社長)
	小林 智	(取締役)
	宮里 系一郎	(取締役)
	赤穂谷 匡広	(取締役経営企画本部長)
	安西 浩樹	(サービス本部 編成部長)
	服部 綾子	(経営企画本部 事業戦略部長)

■議事内容

1. 番組審議

（1）『千原ジュニアの名車再生！プロジェクト』について

①コアなカルチャー、ニッチな分野を深掘りする番組は嗜好が多様化している今の時代にあった番組作りである。ターゲット層には非常に楽しめる内容であると感じる。

②出演者がもっと旧車好きなことを全面にしてほしかった。マニアックさが増せば増すほど、ターゲットの視聴層からより共感が得られると思う。

③自動車や旧車に詳しくない視聴者が楽しめるよう専門用語などについてフォローするテロップを出すなど幅広い層に伝えるための工夫が必要。

④番組尺の関係かもしれないが、番組の後半はナレーションに頼りすぎてしまっており職人さんたちのご苦労が伝わりづらかった。省略をせず職人たちの苦労を映像でしっかりと描いたほうがより良い番組になっていたと感じる。

⑤放送時間に収まらない場合は、内容を充実させたものをビデオオンデマンド限定で提供するという方法もこうしたニッチな番組には向いていると思う。

(2) 『モンスター！井上尚弥 WBSS 準決勝 100 日の記録』について

①世界的なアスリートならではの名言だけでなく、あまり他では見ることのできない素の井上選手のオフショットやコメントが非常に魅力的。キャラクターが存分に伝わり、ますます井上選手のことが好きになって、応援したい気持ちが強くなった。

②ひかり TV といえば 4K。4K といえばスポーツ。その中でも格闘技・ボクシングはより迫力、臨場感あり欠かせないものだと感じた。カメラを意識させない、リラックスした、リアルな表情が伝わってきた。

③小型カメラを活用するなどして、井上選手の目線でスパarringやトレーニングの模様を映像化すれば、より楽しめると感じた。

④ボクシングファンのために、試合の戦術や作戦を深掘りしてマニアックな内容を充実させればもっと面白くなると思う。

以上